



第73回通常総会議案書



千葉県生活協同組合連合会

日時：2022年6月23日(木) 14:00

会場：ホテルプラザ菜の花



千葉県生協連第73回通常総会議案書 目次

第1号議案 2021年度活動報告、決算書承認、剰余金処分案に関する件

I. 2021年度活動のまとめ	1
II. 2021年度決算報告、剰余金処分案	10
【1】事業報告書	10
【2】貸借対照表	14
【3】損益計算書	15
【4】重要な会計方針及び注記事項	16
【5】剰余金処分案	21
監査報告書	22

第2号議案 2022年度活動方針及び収支予算案承認に関する件

I. 2022年度活動方針	23
II. 2022年度収支予算	28

第3号議案 役員補充選任の件

付属資料	31
地域生協の市町村別加入状況一覧	32
2021年度 会員生協概況表	36

＜第1号議案＞ 2021年度活動報告、決算書承認、剰余金処分案に関する件

I. 2021年度活動のまとめ

1. はじめに（2021年度活動の特徴）

2021年度も、新型コロナウイルス感染症の対応に追われる一年でした。上期は重症化しやすい変異ウイルス「デルタ株」の感染拡大により、一時医療提供体制がひっ迫し、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が続きました。飲食店の時短営業・休業要請、イベントの開催制限・停止などにより、経済が停滞しました。10月には一時鎮静化し、経済活動や人の流れも少しずつ回復傾向でしたが、年明けには感染力の強い「オミクロン株」が急速に広がり、予断を許さぬ状況です。

そのような中、コロナ禍の中でデジタルの利活用が急進し、テレワークなど時間・場所にとらわれない社会活動も広がりました。地域生協では、人と人とのつながりを大切にする対面での活動はもちろん、オンラインでの産地見学や学習会、交流といったデジタルを活用した組合員活動の取り組みが浸透、日常化しました。

また、経済を止めないよう一定の経済活動は認められていても自粛ムードが続く状況のもと、今年度も宅配などの生協の事業で、多くの組合員の暮らしを支えることができました。しかしまだ、事業活動が難しい生協も見られます。大学生協では大学での対面授業が一部始まり、学生の利用が戻ってきてはいますが、経営の回復までには至っていません。

先が見通せないパンデミックの中、地球温暖化問題、少子高齢化、ジェンダー、貧困・格差・差別などの様々な課題がより顕在化、深刻化した1年となりました。またそれにも増して、2022年2月にロシアのウクライナへの軍事侵攻による世界情勢の不安定さが、平和や人々の暮らしに大きく影を落としています。

千葉県生協連では持続可能な開発目標(SDGs)^{※1}の達成につながることをめざし、第72回通常総会(2021年6月22日)で承認された方針のもとで活動を進めました。

2. 2021年度の活動について

2021年度方針

- (1) 安心して暮らし続けられる地域社会づくりのため、自治体や諸団体と連携を大切にしながら協同組合としての役割を発揮します。特に、健康、貧困・差別、平和の課題解決に向け、地域の人々との意見交換、学習、検討などに取り組みます。
- (2) 持続可能な社会の実現に向け自立した消費者としての意識を醸成するため、エシカル消費などの啓発、進むデジタル社会の課題や脱炭素社会への取り組みなどといった新たな消費者課題についても学び、消費者団体などと連携し、活動や啓発、情報発信します。
- (3) 会員生協間をはじめ、協同組合間、他団体間との交流や学び合い、情報共有などの機会を提供し、緩やかなネットワークを構築します。また「ウィズコロナ」の中での新たな事業課題や組合員活動の在り方などについての検討、地域連携や交流・活動の新しいカタチについて、共に検討します。
- (4) 会員生協とともに日本生協連2030年ビジョン「つながる力で 未来をつくるーCO・OP 2030ー」実現にむけて、積極的に取り組みます。

上記方針に基づき、下記の課題に取り組みました。

1. 会員生協間の協同を進めます。

- (1) 各部会・委員会での情報交換を進め、会員生協間の交流を進めます。事業活動の課題について、研修会の開催などを実施します。
 - ・10月に2021年度千葉県生協連政策検討会をオンラインで開催しました。「SDGsの中でのソーシャルビジネス^{※2}の取り組み～環境問題や難民問題、福祉など社会的解決に向けて～」と題し、ソーシャルビジネスの視点から見た社会課題の解決について講演会を開催しました。



講師：青山明弘さん
(ピープルポート(株) 代表取締役社長)

- ・2022年2月に、CO・OP火災共済等に関する研修交流会をオンラインで開催しました。
- ・10月に第1回職域生協部会を開催し、なのはな生協の施設見学をオンラインでおこないました。



第1回職域生協部会(なのはな生協)

- ・地域生協部会では、4つの地域生協の事業や活動などについて、情報交換や交流をおこないました。

(2) 会員生協の活動に共通する課題について、情報収集、学習や事例交流の場を設け、会員同士が連携して取り組む機会を作ります。

① 地域・まちづくりに関する取り組み

- ・4月に第1回地域・まちづくり委員会を開催し、千葉県内の地域の課題や、地域の中で生協が期待されていることなどについて、会員生協や千葉市及び南房総市社会福祉協議会の皆さんと意見交換をおこないました。
- ・7月に開催した第2回地域・まちづくり委員会では、千葉県より、人口減少・少子高齢社会に関する県内の状況とその対応について、説明し

ていただきました。

- ・地域・まちづくり委員会では、11月から3回にわたり、「地域課題解決に取り組む団体の活動を知り、地域への関わり方を考える」と題し、地域で活動するNPO法人や団体の取り組みについて学習しました。



講師 右：渡邊光春さん
(スペシャルオリンピックス日本・ちば)
左：二宮美鈴さん
(NPO法人世界のともだちホームスタートしゅっぽぼ)

- ・2022年1月には、大学生協の学生委員と地域生協理事が参加し「2021年度大学生協と地域生協の交流会」をオンラインで開催しました。事務局を含む27人が参加しました。「コロナによってかわったこと」をテーマにフランクにおしゃべりし、多くの気づきを得ることができました。

② 消費者問題に関する取り組み

- ・7月に開催した第2回食・消費者委員会では、「新型コロナウイルス感染症の中での千葉県の経済と私たちの暮らし」と題し、千葉県よりコロナ下の県内の経済と産業の現状について、説明していただきました。
- ・10月に千葉県主催令和3年度「消費者フォーラム&金融経済講演会」が開催され、会員生協からエンカル消費^{※3}の取り組みについての出展がありました。また、事務局を担う特定非営利活動法人 消費者市民サポートちばも展示をおこないました。
- ・11月に成年年齢引き下げ^{※4}問題に関する公開講座 vol.2のオンライン配信をおこないました。今年は、淑徳大生に参画していただき、大学生生活での契約に関する注意点などを起点に、成年

になる若者に知ってほしい契約や消費についてのポイントを伝えました。のべ200人に視聴いただきました。



講師 左：庄司佳子さん
（公財）消費者教育支援センター
右：淑徳大生（日野研究室）

- ・11月に第4回食・消費者委員会を開催し「デジタル社会におけるインターネットを利用した取引類型と消費者保護」と題して、適格消費者団体の消費者市民サポートちばから講師を招き、オンライン取引、キャッシュレス決済^{※5}、暗号資産^{※6}について学びました。

③ 食に関する取り組み

- ・9月には第3回食・消費者委員会において、「食品表示と消費者の選択」と題し、講師をお招きし、消費者の視点から見た食品表示の現状と課題について学習しました。
- ・12月に、第5回食・消費者委員会を開催しました。「食品安全行政について」と題し、日本生協連より残留農薬規制を例として、食品安全の基本的な考え方について説明していただきました。
- ・1月に千葉市から、令和4年千葉市食品衛生監視指導計画^{※7}について、説明していただきました。
- ・2月に第6回食・消費者委員会において千葉県より令和4年千葉県食品衛生監視指導計画について、説明をお聞きしました。

④ 福祉・たすけあい活動に関する取り組み

- ・千葉県の高齢者孤立化防止プロジェクト「SSK」^{※8}における地域生協の取り組みを県に報告しました。

- ・10月に第2回福祉・たすけあい事業部会において、居場所づくりとしてのサード・プレイス^{※9}について学習し、交流しました。



講師：石山恒貴さん（法政大学大学院教授）

⑤ 防災、減災に関する取り組み

- ・5月に第1回災害対策委員会を開催し、改訂版「千葉県地域防災計画」について千葉県より説明をうかがい、共有しました。
- ・11月に第42回九都県市合同防災訓練（千葉会場）^{※10}の物資輸送訓練に、千葉県生協連からパルシステム千葉、コープみらいが参加しました。



第42回九都県市合同防災訓練(千葉会場)

- ・毎月、5会員生協と千葉県生協連の間で、災害時MCA無線通信訓練をおこないました。
- ・2022年3月には、千葉県生協連の災害対応手順書に基づく図上訓練を、会員生協と県連事務局でおこないました。

⑥ 平和に関する取り組み

- ・7月に举行された第43回原爆死没者慰霊式典の実行委員として運営協力し、式典へ出席しました。
- ・8月に憲法学習会「憲法と私たちの暮らし」を開催しました。18人が参加しました。私たちのく

らしに憲法が深くかかわっていることなどを学びました。

- 10月に平和の懇談会「考えてみませんか、平和について～私が考える平和、あなたが考える平和、平和ってなに？」を開催しました。長崎の被爆3世と広島に被爆者の方によるトークセッションのあと意見交換をおこない、26人が参加しました。身近な人たちと平和について考えるきっかけとなりました。



講師：右 林田光弘さん（長崎大学特任研究員）
左 児玉三智子さん（千葉県原爆被爆者友愛会会長）

- 2022年3月に「子どもたちに平和な未来を2021」をオンライン開催し、「平和のために、わたしたちが日本からできることは」をテーマに、講演と子どもたちとのワークショップをおこないました。小学生、中学生を含む、約80人が参加しました。

⑦ 人権に関する取り組み

- 9月にジェンダー学習会「ダブルハピネス～隣にいてもかもしれないLGBTQ^{*11}～」をオンライン開催しました。ZoomおよびYouTubeでの視聴を含め、217人が参加しました。多様性について考え、誰もがその人らしく生きられる社会になるためには何ができるのか、グループ交流を交えて話し合いました。



講師：杉山文野さん（東京レインボープライド共同代表理事）

- 11月には千葉県男女共同参画推進連携会議「令和3年度第1回地域・教育合同部会」の講演「アンコンシャス・バイアス^{*12}～知って、気づいて、対処する～」の運営に協力しました。

⑧ 環境、エネルギー問題に関する取り組み

- 2月に、事務局を担う消費者団体千葉県連絡会において、「止めよう！地球温暖化ー私たちのくらしで変わるー」を開催しました。COP26^{*13}の報告とともに地球温暖化防止のため消費者としてどのように行動すれば良いか、また千葉県の地球温暖化防止の施策について学習しました。視聴回数は、のべ221回でした。
- 10月に開催された「第26回エコメッセ2021 inちば」に、行政や他団体・企業と共に協力しました。「笑顔あふれる未来を創ろう」をテーマに、今年度もオンライン開催となりました。
- 千葉県環境財団に置かれた「ちば環境再生推進委員会」の委員として、「ちば環境再生基金」からの県内の環境団体への助成活動に取り組みました。

(3) 会員生協への支援

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、千葉大学生協、千葉商科大学生協、東邦大学消費生協に対し、2021年度会費を特別減免としました。

2. 行政、他団体との連携を推進します。

(1) 県行政

- 7月に「千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との懇談会」を開催し、16人が参加しました。オンラインでの開催でしたが、県内生協の概況や会員生協のコロナ禍における事業活動、組合員活動の取り組みを報告し、懇談しました。



千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との懇談会

- ・7月に県行政と共催で「消費生活協同組合役員研修会」を開催し、7会員生協52人が参加しました。「人口減少時代の中で維持する千葉の地域づくり」をテーマに、地域創生について学びました。また、千葉県より「生協運営上の留意点について」の説明がありました。
- ・10月および2月に「広報担当者・消費者行政連絡会」を開催し、県行政と会員生協広報担当者が参加しました。会員生協の活動や広報事例を紹介し、令和4年度の消費者被害等に関する啓発の広報協力について話し合いました。
- ・1月に千葉市、2月には千葉県の令和4年食品衛生監視指導計画に対し提言をおこないました。
- ・千葉県生協連として、下記の千葉県の審議会委員などに選任され、県の施策決定に参画しました。

消費者行政審議会

卸売市場審議会

食品等安全・安心協議会

男女協同参画推進連携会議

安心・安全まちづくり委員会

(2) 協同組合関係

- ・JA千葉中央会を中心とした「食料・農業・環境を考えるセミナー」実行委員会に参画しました。3月にセミナーを開催し、エシカル消費について学びました。

(3) 友誼団体、関係諸団体

- ・9月に第2回災害対策委員会において、日本赤十字社千葉県支部との活動交流をおこないました。

- ・11月に第3回災害対策委員会を開催し、千葉県社会福祉協議会と災害時の連携について懇談しました。
- ・9月から11月の期間で、会員の地域生協とともに、「フードバンクと千葉県内生協連携キャンペーン」を開催しました。フードドライブ※16とともに夏休み宿題応援子ども記者企画やSNSからのエール発信などの取り組みもおこないました。フードドライブでは、約8tもの食品が集まりました。



家庭から提供された食品を
並べて作ったメッセージ

- ・経済的、環境的に厳しい状況に置かれている子どもを支援する「特定非営利活動法人ちばこどもおうえんだん」の活動に、引き続き監事として協力しました。
- ・千葉県内の被爆者団体「千葉県原爆被爆者友愛会」の活動に対し、継続して協力、支援しました。

3. 消費者団体の支援に取り組みます。

- ・「消費者団体千葉県連絡会」の事務局として、会員団体とともにくらしの様々な課題について学習や交流をおこないました。
- ・悪質事業者への是正を求める活動をおこなう適格消費者団体「特定非営利活動法人 消費者市民サポートちば」の事務局を担い、支援しました。申し入れ活動の他、千葉市、木更津市での市民向け講座など受託事業もおこないました。



千葉市 令和3年度 サポーター養成講座



ちば産学官連携プラットフォームへの食品の贈呈式

4. 地域の中での生協の価値を高めます。

(1) 県行政・県議会各派関係

- ・ 県行政関連部局と委員会や部会などで懇談を重ね、暮らしに関わる諸課題について協力関係を深めました。
- ・ 6月に、熊谷千葉県知事と懇談しました。熊谷知事からは「コロナ禍で暮らしを取り巻く環境は大きく変わり、その中で生協への期待は大きい」とのお言葉をいただきました。
- ・ 7月には公明党千葉県支部の政策要請懇談会に出席し、県行政における諸課題についての千葉県生協連の要望や考えを説明し、懇談しました。
- ・ 行政や県議会関係者に対し毎月の会報を配布し、千葉県生協連の活動を紹介しました。

(2) 協同組合関係

- ・ 7月に千葉県協同組合提携推進協議会^{*14}として、コロナ禍で困窮する千葉大学、淑徳大学の学生に、食料支援をおこないました。
- ・ 千葉大学で開校された日本協同組合連携機構(JCA)が主催する「国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座^{*15}」の開催に協力しました。会員の地域生協に講師をお願いしました。

(3) 県内諸団体との関係

- ・ 11月にフードバンクちばへの協力として、千葉市などの大学・短大で構成する「ちば産学官連携プラットフォーム^{*16}」に食料を提供し、コロナ禍で生活が苦しい大学生への支援をおこないました。

- ・ 千葉県ユニセフ協会や県内フードバンクなどにも、協力や支援をおこないました。

(4) 広報関係

- ・ 千葉日報の新春特集「千葉のトップが語る」の中で、千葉県内の生協の事業や活動について紹介し、県民に生協について理解していただくよう努めました。
- ・ 2023年4月のリニューアルに向けて、ホームページの改修について検討を始めました。

5. 日本生協連 中央地連、他県連との協同を進めます。

(1) 日本生協連 中央地連、都県連との交流、情報交換をすすめます。

- ・ 日本生協連 中央地連の会議に参加し、他県の生協、生協連との交流を深めました。
- ・ 東京都、埼玉県、神奈川県各県連とともに、4都県生協連共催の学習会を開催しました。今後の連携した取り組みについても、検討を進めています。

(2) 生協法をはじめ関連する法制度の情報提供、関係者への働きかけなど、必要な取り組みを日本生協連とともにすすめます。

- ・ 2022年2月に、ウクライナへの軍事侵攻に対する抗議文を在ロシア大使館に提出しました。

本議案における、決議の本旨に反しない範囲での字句の修正は、理事会にご一任ください。

◆2021年度活動のまとめフォトピックス

2021年度4つの方針 (概要)

2021年6月23日、千葉県生協連第72回通常総会が開催され、2021年度の4つの活動方針にもとづき、5つの課題が承認されました。主な活動をご紹介します。

(1) 安心して暮らし続けられる地域社会づくりのため、自治体や諸団体と連携を大切にしながら協同組合としての役割を發揮します。

(2) 持続可能な社会の実現に向けて、自立した消費者となるため新たな消費者課題について学び、消費者団体などと連携します。

(3) 会員生協間、協同組合間、他団体との交流や学び合いから「ウズコロナ」の中での地域連携、交流・活動の新たなカタチについて検討します。

(4) 会員生協とともに日本生協連2030年ビジョン「つながる力で未来をつくるーCO・OP2030ー」実現にむけて、積極的に取り組みます。

5つの課題

1. 会員生協間の協同を進めます。



2021年度千葉県生協連 政策検討会

講師：青山明弘さん
(ピープルポート(株) 代表取締役社長)



第1回職域生協部会 (なのはな生協オンライン見学会)



地域・まちづくり委員会 (地域で活動する団体の取り組みについての学習)

講師：
右：渡邊光春さん (スペシャルオリンピックス日本・ちば)
左：二宮美鈴さん (NPO法人世界のともだちホームスタートしゅっぽぼ)

第1号議案



成年年齢引き下げ問題に関する公開講座Vol2
(淑徳大生が参画した取り組み)

講師：右：庄司佳子さん ((公財) 消費者教育支援センター)
左：淑徳大学生 (日野研究室)



第3回食・消費者委員会
(食品表示と消費者の選択)

講師：森田満樹さん
(一社) Food Communication Compass代表



第2回福祉・たすけあい事業部会
(サード・プレイス学習会)

講師：石山恒貴さん (法政大学大学院教授)

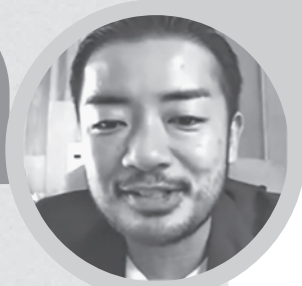


子どもたちに平和な未来を2021
「平和のために、私たちが日本から
できることは」

講師：安田菜津紀さん (Dialogue For people副代表
フォトジャーナリスト)



2021年度大学生協と地域生協の交流会



4都県生協連共催企画 ジェンダー学習会
「ダブルハピネス～隣にいるかもしれないLGBTQ～」

講師：杉山文野さん ((株) ニューキャンパス代表)

2. 行政、他団体との連携を推進します。



フードバンクと千葉県内生協連
携キャンペーン
(提供された食品を並べて作っ
たメッセージ)



千葉県環境生活部と
千葉県生協連役員との懇談会

3. 消費者団体の支援に取り組みます。



適格消費者団体（特非）
消費者市民サポートちばの支援
(千葉市との連携事業)

4. 地域の中での生協の価値を高めます。



ちば産学官連携プラットフォーム
(大学生への食料提供)

5. 日本生協連 中央地連、他県連との協同を進めます。



全国の生協とともに、ウクライナ侵攻に
対する抗議声明文をロシア大使館へ提出

ロシアによるウクライナ侵攻

2022年2月24日にロシア軍がおこな
う侵襲に強く抗議し、ロシアに対し速やかな武力行
動を求めます。

このような軍事侵攻は国連憲章に対する重
大な違反を犯すものです。また、プーチン
大統領の独断であり、戦争被爆の体験



Ⅱ. 2021年度決算報告、剰余金処分案に関する件

【1】事業報告書

2022年3月31日

1. 連合会の事業活動の概況に関する事項

(1) 2021年度末における事業活動の経過及びその成果

① 事業の経過およびその成果

第1号議案に記載した「2021年度活動報告」のとおりです。

② 対処すべき重要な課題

第2号議案に記載した「2022年度活動方針」のとおりです。

(2) 2021年度末における会員の内容

項目	期首	増	減	期末
地域生協	4	0	0	4
職域生協	1	0	0	1
大学生協	3	0	0	3
学校生協	1	0	0	1
住宅生協	1	0	0	1
共済生協	1	0	0	1
高齢者生協	1	0	0	1
合計	12	0	0	12

準会員の内容

項目	期首	増	減	期末
地域生協	2	0	0	2

(3) 直前3事業年度の財産及び損益の概況

(単位：円)

項目	2018年度	2019年度	2020年度	本年度
会員数	12	12	12	12
出資金額	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000
事業収入	48,004,800	48,005,400	47,107,500	47,107,200
事業経費	47,564,546	52,644,614	43,638,891	44,057,533
経常剰余金	533,168	-4,596,106	3,562,297	3,140,538
総資産	46,423,961	41,199,245	45,144,519	47,729,692
純資産	44,283,450	39,687,344	43,179,641	46,250,175

(4) 教育事業等の状況

- ① 当期に繰り越された教育事業等繰越金・・・・・・・・・・500,000円
- ② 教育事業等要した費用の内訳
 生協法51条の4第5項(教育事業等繰越金)に要した費用の内訳
 ・教育文化費 会員組合員学習会等・・・・・・・・・・749,251円
 ・調査研究費 役員研修会、研修費用、書籍購入等・・282,608円

2. 連合会の運営組織の状況に関する事項

(1) 総会の決議

総会開催日	2021年6月22日	
総会日現在代議員数	54名	
出席代議員数	本人	7名
	委任	0名
	書面	47名
	計	54名
重要な議事及び議決事項		
第1号議案	2020年度活動、決算書承認、剰余金処分案に関する件	原案通り可決承認
第2号議案	2021年度活動方針及び収支予算案承認に関する件	原案通り可決承認
第3号議案	定款一部変更の件	原案通り可決承認
第4号議案	役員選任の件	原案通り可決承認

(2) 会員に関する事項

(単位：円)

区分	会員数	口数	出資金総額
当期首現在	12	216	2,160,000
当期中増加	0	0	0
当期中減少	0	0	0
当期末現在	12	216	2,160,000

(3) 役員に関する事項

役員一覧表(2022年3月31日現在)

役員名	氏名	就任年月	所属生協名
会長理事	渡邊 英里子	2019年6月	生活協同組合コープみらい 常務執行役員 千葉県本部長
専務理事	上山 精一	2019年6月	常勤
理事	佐々木 博子	2013年6月	生活協同組合パルシステム千葉 理事長
理事	新村 里志	2017年6月	生活協同組合パルシステム千葉 専務理事
理事	佐々木 由佳	2021年6月	生活協同組合コープみらい 理事
理事	埴 智	2019年6月	生活クラブ生活協同組合 専務理事
理事	岩崎 秀人	2011年6月	なのはな生活協同組合 専務理事
理事	鶴岡 隆幸	2019年6月	千葉県庁生活協同組合 専務理事
理事	石原 裕	2021年6月	千葉大学生生活協同組合 専務理事
理事	小川 彰	2017年6月	千葉県学校生活協同組合 専務理事
理事	杉浦 高志	2020年6月	千葉県勤労者共済生活協同組合 専務理事
監事	有吉 直樹	2020年6月	東邦大学消費生活協同組合 専務理事
監事	高橋 洋	2020年6月	千葉県高齢者生活協同組合 理事長
監事	木村 隆之	2021年6月	生活協同組合コープみらい 常勤監事

(4) 職員の数

男	女	計
1	3	4

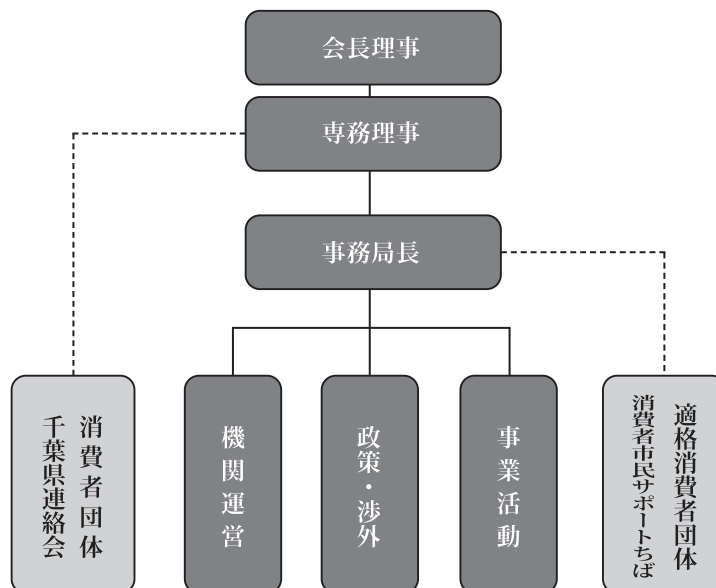
※ 女性3名は嘱託職員

(5) 主たる事務所の所在地等

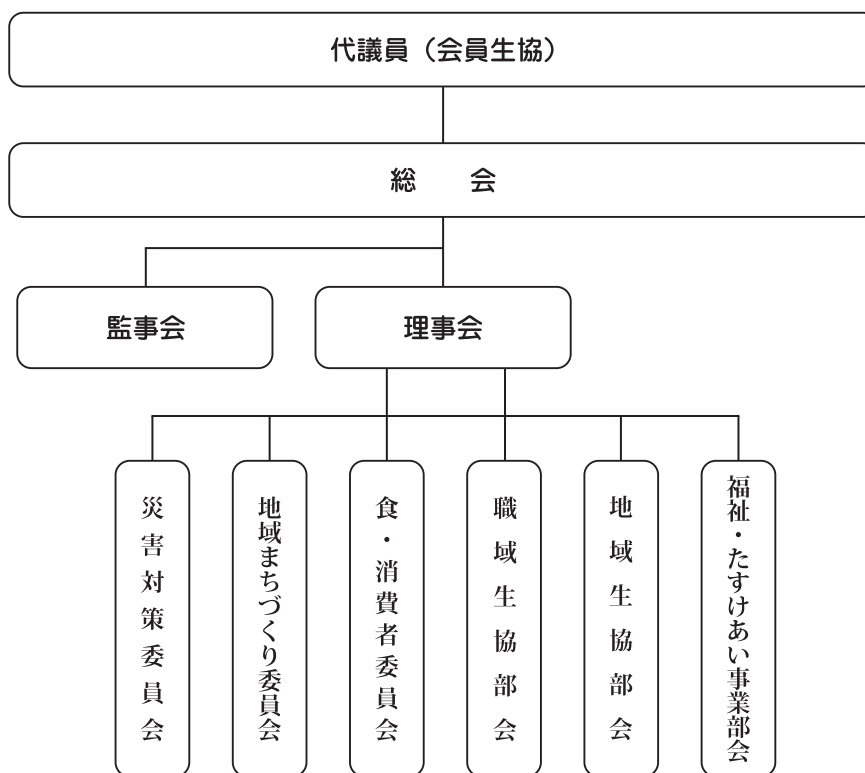
千葉市中央区中央4-13-10 千葉県教育会館5F

(6) 業務運営の組織に関する事項

①業務組織



②運営組織



3. その他連合会の状況に関する重要な事項

該当事項ありません

【2】貸借対照表

(2022年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額		科目	金額	
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	45,776,307		流動負債	1,479,517	
現金		44,405	未払費用		1,104,780
普通預金		13,731,887	預り金		304,737
定期預金		32,000,015	未払税金		70,000
立替金		0			
			固定負債		0
			負債合計	1,479,517	0
固定資産	1,953,385		(純資産の部)		
有形固定資産	20,885		会員資本	2,160,000	
器具備品		20,885	出資金		2,160,000
			剰余金	44,090,175	
その他固定資産	1,932,500		法定準備金		3,630,000
関係団体出資金		200,000	災害対策等積立金		30,000,000
差入保証金		1,732,500	記念事業積立金		5,000,000
			当期末処分剰余金		5,460,175
			(うち当期剰余金)		(3,070,534)
			純資産合計	46,250,175	
資産合計	47,729,692		負債・純資産合計	47,729,692	

【3】損益計算書

(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額	
I.事業収入		
会費収入		47,107,200
II.事業経費		
人件費	30,665,030	
物件費	13,392,503	44,057,533
事業剰余金		3,049,667
III.事業外収入		
受取利息	8,533	
雑収入	82,338	90,871
IV.事業外費用		
雑損失		0
經常剰余金		3,140,538
V. 特別損失		
固定資産除去損	4	4
当期税引前剰余金		3,140,534
法人税等		70,000
当期剰余金		3,070,534
当期首繰越剰余金		2,389,641
当期未処分剰余金		5,460,175



【4】重要な会計方針及び注記事項

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産の減価償却方法

- ・法人税法に規定する方法（旧定率法を採用しています）
- ・2012年4月以降取得した備品は定率法を採用しています。
- ・2021年度購入した器具・備品は少額減価償却資産の特例で処理しています。

(2) 消費税の会計処理は、税込処理を採用しています。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産にかかる減価償却累計額

- ・器具備品 取得価格 4,031,826円 減価償却累計額 4,010,941円

(2) 賞与引当金・退職給付引当金の引当該当はありません。

3. 損益計算書に関する注記

(1) 法人税等

- ・法人税等には法人県民税と法人市民税を計上しています。
（当期の法人税・法人事業税の計上はありません）

(2) 教育事業等繰越金

- ・当期首繰越剰余金2,389,641円には、剰余金処分により繰越した教育事業等繰越金500,000円が含まれています。

4. 剰余金に関する注記

- ・次期繰越剰余金には、生協法第51条の4第4項に規定する教育事業等繰越金として500,000円が含まれています。

【決算関係書類附属明細書】

2022年3月31日

(1) 会員資本の明細

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
会員出資金	2,160,000	0	0	2,160,000
法定準備金	3,630,000	0	0	3,630,000
災害対策等積立金	26,000,000	4,000,000		30,000,000
記念事業積立金	5,000,000	0		5,000,000
当期末処分剰余金	2,389,641	3,070,534		5,460,175
合計	39,179,641	7,070,534	0	46,250,175

(2) 借入金の明細

・該当事項ありません

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿額
有形資産	器具備品	56,524	811,880	847,519	847,519	20,885
その他資産	差入保証金	1,732,500	0	0		1,732,500
	関係団体出資金	200,000	0	0		200,000
合計		1,989,024	811,880	847,519	847,519	1,953,385

(4) 関係団体等出資金の明細

(単位：円)

出資先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
日本生協連	30,000	0	0	30,000
賀川記念教育基金	70,000	0	0	70,000
中央労働金庫	100,000	0	0	100,000
合計	200,000	0	0	200,000

(5) 事業経費の明細

(単位：円)

科 目	金 額
役員報酬	10,000,000
職員給与	14,966,757
厚生福利費	5,116,750
退職給付費用	581,523
人件費計	30,665,030
通信交通費	848,905
調査研究費	282,608
広報費	760,433
会議費	919,977
賃借料	5,026,396
渉外費	283,883
教育文化費	749,251
消耗品費	938,672
諸会費	1,666,025
水道光熱費	340,975
減価償却費	847,515
雑費	447,287
寄附金	280,576
物件費計	13,392,503
事業経費合計	44,057,533

(6) その他重要な事項

① 主要な事業に係る資産の内容

ア. 現金預金明細

(単位 : 円)

区 分	期首残高	期末残高	当期増減額
現 金	38,715	44,405	5,690
普通預金	11,113,438	13,731,887	2,618,449
(中央労金千葉支店)	1,235,558	2,175,912	940,354
(千葉銀行長洲支店)	9,761,788	11,440,678	1,678,890
(京葉銀行本店)	116,092	115,297	-795
定期預金	32,000,015	32,000,015	0
(中央労金千葉支店)	15,000,000	15,000,000	0
(千葉銀行長洲支店)	12,000,015	12,000,015	0
(京葉銀行本店)	5,000,000	5,000,000	0
合 計	43,152,168	45,776,307	2,624,139

イ. 有価証券明細書

- ・ 関係団体出資証券は (4) 参照

ウ. 差入保証金明細

(単位 : 円)

差入先	金額
千葉県教育会館維持財団	1,732,500

エ. その他資産明細

- ・ 該当事項ありません

② 主要な事業に係る負債の内容

ア. 未払費用明細 (単位：円)

内訳	金額	合計
コープみらい	513,996	
日本生協連	9,886	
キャノン	20,697	
ヤマト運輸(株)	12,771	
船橋総行	12,870	
千葉ビル代行(株)	20,900	
千葉労働局(令和3年度分)	1,903	
未払給与	511,757	1,104,780

イ. 預り金明細 (単位：円)

内訳	金額	合計
源泉所得税2022年1月～3月分	226,200	
源泉所得税(講師より源泉預かり分)	1,137	
住民税 2022年3月分	77,400	304,737

ウ. 未払法人税等の明細 (単位：円)

内訳	金額	合計
未払県民税	20,000	
未払市民税	50,000	70,000

【5】 剰余金処分案

2022年3月31日

(単位 : 円)

科 目	金 額
I. 当期末処分剰余金	<u>5,460,175</u>
II. 剰余金処分額	
. 災害対策等積立金	<u>3,000,000</u>
III. 次期繰越剰余金	<u><u>2,460,175</u></u>

以上のとおり提案いたします。

<剰余金処分案について>

I. 剰余金処分額

災害対策等積立金は、大規模災害等により千葉県生協連の事業活動により大きな災害が出た場合の事業継続費用や被災地の復興支援費用として今期は3,000,000円積み立てます。

II. 次期繰越剰余金

生協法第51条の4で定められている教育事業等繰越金は、当期剰余金の5%以上を次期繰越剰余金に含めて繰越します。今期の教育文化事業繰越金は500,000円です。

千葉県生活協同組合連合会
会長理事 渡邊 英里子

監 査 報 告 書

私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの2021事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、当連合会の監事監査規則に基づいて、他の監事と意思疎通及び情報の交換を図るほか、監査方針、監査計画に従い、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及び付属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行ない、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）及びその付属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類及びその付属明細書の監査結果

決算関係書類（剰余金処分案を除く）及びその付属明細書は、連合会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。


(3) 剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、連合会財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。


2022年4月26日

千葉県生活協同組合連合会


監事

有吉直樹 

監事

高橋洋 

監事

木村隆之 

＜第2号議案＞ 2022年度活動方針及び収支予算案承認に関する件

I. 2022年度活動方針

1. 2021年度くらしを取り巻く情勢

- (1) 2022年2月に、ロシアがウクライナへの軍事侵攻をはじめました。この武力行使は国際法違反であり、多くの子どもたちや民間人の尊い命が犠牲となっています。欧米や日本などの国々により、ロシアへの経済制裁やウクライナに対する様々な支援が始まっています。
- (2) 新型コロナウイルス感染症はワクチン接種などで一旦感染収束が見られましたが、2022年1月には感染力の強い「オミクロン株」が爆発的に広がりました。国は、ワクチンの追加接種や治療薬の開発を同時並行で進めながら、国民の協力を求めつつ、経済活動を止めない感染防止策を模索しています。
- (3) コロナ禍により、宿泊、飲食、運輸などの特定の産業や、若者、女性、非正規雇用などの弱い立場の人々への経済的影響は大きく、業種間や所得階層間の格差が拡大しています。経済活動が再開しても取り残される人が多いと懸念される中、本格的な景気回復は2022年以降と予測されています。
- (4) スマートフォンなどが一人一台の時代になり、オンラインショッピングやキャッシュレス決済などが日常的になりました。コロナ下でテレワークが推奨されましたが、社会のデジタル化の遅れも顕著となりました。政府は9月にデジタル庁を新設し、デジタルデバイド^{※17}の解消、通信環境の整備、デジタルトランスフォーメーション（DX）^{※18}などの新たな課題に取り組みははじめました。
- (5) 2020年度の食料自給率は37%と過去最低でした。そのような中で、自然災害による産地の天候不順やコロナ禍からの経済回復、ロシアのウクライナ侵攻の影響により、小麦粉や食用油、輸入飼料や輸入食品、燃料などの価格が高騰し家計を圧迫しています。
- (6) 11月にCOP26が開催され、2021年～2040年に気温上昇を1.5度とする合意文書を採択しました。日本では「改正地球温暖化対策推進法」が2022年4月に施行となり、政府目標を2050年カーボンニュートラル^{※19}とし、市区町村や企業の取り組み事項も盛り込まれました。また、プラスチック資源循環促進法^{※20}が制定され、プラスチック・食品ロス削減やリサイクル、海洋資源や森林資源の持続可能性に配慮した「責任ある調達」^{※21}なども進みました。
- (7) 2022年4月より成年年齢が引下げられ、18歳から成人となります。消費者庁は引下げによるトラブル防止・救済のための取り組みを実施し、情報の普及に努めています。また、施行後3年を経過し見直しが必要とされていることから、国は消費者契約法および消費者裁判手続特例法等に関する検討会報告書^{※22}のとりまとめを行いました。
- (8) コロナ禍により核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議^{※23}は4回目の延期が決まり、2022年8月に開催予定です。また、核兵器禁止条約締結国会議^{※24}も2022年半ばの開催となりました。一方でウクライナ情勢により、国内では非核三原則の見直しや核共有^{※25}、軍事力強化などの意見が持ち上がり、冷静な議論を求める声が広がっています。また被爆76年を迎え、記録の保存や継承などが喫緊の課題となっています。
- (9) 2020年に国内で生まれた日本人の子どもの数（出生数）は約84万人と過去最少となりました。国は子育て支援に関する施策を一元化する「こども家庭庁」を、2023年度に創設する予定です。また、2024年には3人に1人が65歳以上になるなど超高齢化が進んでいます。



(10) パンデミックのため1年遅れの2020東京オリンピック・パラリンピックでしたが、我が国のジェンダー、LGBTQ、障害や人種といった様々な人権問題の論議が進む契機となりました。夫婦別姓問題や性同一性障害者特例法改正など、国会での論議が待たれます。

2. 2022年度活動方針

WebやAIの活用といったIT化の急拡大など、社会環境が大きく変化しています。それに伴う社会的課題も複雑化、多様化しています。そのような中、千葉県生協連は「コープSDGs行動宣言」^{※26}を礎に、「ちばの生協」として地域の課題解決と持続可能な社会の実現に取り組んでいきます。

方針1：

会員生協とともに暮らしの願いを実現するため、SDGs達成をめざして社会的課題の解決に取り組めます。

(1) 会員生協の活動に共通する課題について、情報収集、学習や事例交流の場を設け、会員間で連携して取り組む機会を作ります。

① 地域・まちづくりに関する取り組み

- ・ 諸団体から様々な地域づくりの事例を学び、実践につなげられるように会員生協と諸団体間との間で交流し、緩やかなネットワークを広げます。
- ・ 高齢者が孤立することなく安心して暮らせるよう「SSK」に引き続き取り組み、高齢者の見守り事例を通して、内外に活動の意味や目的を発信します。

② 消費者問題に関する取り組み

- ・ 成年年齢引き下げにともなう若者の消費者被害を、社会全体で防ぐための対応を考える市民向けの学習会を企画します。

- ・ 行政と会員生協が連携した消費者被害の啓発活動に取り組みます。千葉県が主催する「消費者フォーラムin千葉」の取り組みに協力します。

- ・ 自立した消費者としての判断力を養うため、社会的に注視されている消費者課題をタイムリーに取り上げ、学習、交流の場を拡げます。

③ 食に関する取り組み

- ・ 行政とのリスクコミュニケーション^{※27}として、千葉県及び千葉市食品衛生監視指導計画(案)について学ぶ機会を設け、千葉県生協連として提言をおこないます。
- ・ エシカル消費や健康などSDGsの視点から、食をめぐる様々な実態、課題などについて学習や交流を進めます。
- ・ 食の安全に関する科学的知見、行政の動向など最新情報の提供と、学習と交流の機会を設けます。

④ 防災、減災に関する取り組み

- ・ 災害発生時対応マニュアルや手順書について、速やかに対応できるよう、行政や会員生協との共有化を深めます。
- ・ 九都県市合同防災訓練への参加や千葉県で活動する災害ボランティアセンターとの情報共有とネットワークの構築を進めます。
- ・ 防災・減災の備えの重要性を次世代につなげるため、学習を継続します。

⑤ 平和に関する取り組み

- ・ 国際情勢、憲法改定の動きを踏まえ、憲法の学習会などに取り組みます。
- ・ 核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議、核兵器廃絶条約の動向に注視し、これからの核廃

絶運動について考えます。引き続き、被爆者団体への支援活動を推進します。

- ・被爆・戦争体験を次世代に継承し、核兵器廃絶など平和について考える機会として「子どもたちに平和な未来を2022」を開催します。

⑥ 人権に関する取り組み

- ・子どもの貧困や虐待、ジェンダー問題などについて理解や共感を広げるための学習や、他団体と連携した支援に取り組みます。
- ・男女共同参画など、社会課題に関わる情報を収集し、情報共有を図ります。

⑦ 環境、エネルギー問題に関する取り組み

- ・脱炭素社会にむけ、容器包装等のリサイクルや食品ロス削減、再生エネルギーなどの実践例を学びます。また、会員生協が地域で取り組む環境活動についての交流や学習をおこないます。
- ・温暖化対策などの国および千葉県の施策について、情報収集および学習を進めます。
- ・「エコメッセ（環境見本市）」を支援し行政や他団体・企業と共同で取り組みます。

(2) 会員生協への支援

- ① 会員生協の事業活動の交流を通じ、新たな事業課題についての学習、実践を協同で進めます。
- ② 会員生協と協力し、コロナ禍の影響で経営状況が厳しい会員生協については、継続して支援をおこないます。

方針2：

安心して暮らし続けられる地域社会づくりのため、自治体や諸団体との連携を大切にし、ながら協同組合としての役割を発揮します。

(1) 県行政・県議会各派関係

- ① 県行政との懇談会をおこない、生協の事業活動の取り組みへの理解をひろげます。
- ② 県行政と共催で「消費生活協同組合役員研修会」を開催し、暮らしに関連する県の施策、法令関係について学びます。
- ③ 県行政との協力連携をすすめ、会員生協の活動や広報を活用し、消費者被害の減少・防止のための啓発活動、消費者の暮らしと安全に関わる情報提供の取り組みに積極的に協力していきます。
- ④ 食や環境など、生協の活動に関わる各分野における県行政との懇談・学習の場を設け、施策への要望などを伝えていきます。
- ⑤ 委員として参画する県行政の審議会等への対応をすすめます。

(2) 協同組合関係

- ① 千葉県協同組合提携推進協議会を通じ、千葉県の農業・漁業・林業等の現状を学ぶ機会を設けます。
- ② 「協同組合女性交流会」、「協同組合フェスティバル」の開催に協力します。
- ③ 「食料・農業・環境を考えるセミナー」に協力します。

(3) 友誼団体、関係諸団体

- ① 地域課題の解決に取り組む、社会福祉協議会、NPO法人、大学、企業、他団体の取り組みを学び、地域課題について交流や学習を進めます。
- ② 行政、日本生協連、会員生協と連携し、災害時には千葉県生協連が窓口となり、人員派遣や物資手配などにスムーズに対応します。ま

た協定を締結している千葉県、日本赤十字社との懇談を継続します。

- ③ 生活に困窮する人々への支援のため、県内フードバンクと会員生協で、フードドライブの取り組みを継続しておこないます。

方針3：

持続可能な社会の実現に向け、地域で活動する消費者団体を支援します。

- (1) 県内消費者団体で構成する「消費者団体千葉県連絡会」の活動に協力し、消費者大会を通じて他団体とともに学習を重ねます。
- (2) 消費者被害防止に取り組む適格消費者団体「特定非営利活動法人消費者市民サポートちば」の事務局機能を支援します。また、事業者への不当な契約条項や広告表示の差し止め請求など被害防止の取り組みを支援します。
- (3) 世代に応じた消費者被害防止と啓発に向けた取り組みや学習を、会員生協や「消費者行政充実ネットちば」と連携して進めます。

方針4：

地域の中での生協の取り組みに理解を深めていただけるよう、様々な場面、年代、団体に向けた情報発信に努めます。

- (1) 県行政・県議会各派関係
会報、広報誌等を通じて、生協の活動を理解していただけるよう、働きかけます。
- (2) 協同組合関係
- ① 千葉県協同組合提携推進協議会^{**31}を通じて、協同組合の理念・活動を社会的にアピールしていきます。
- ② 次世代を担う大学生に、協同組合の価値や歴

史、社会的課題の取り組みについて知ってもらう機会として、「国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座」へ参加協力します。

- (3) 県内諸団体との関係、その他

- ① 千葉県労働者福祉協議会、日本赤十字社千葉県支部、千葉県社会福祉協議会、千葉市社会福祉協議会などと交流を進めます。

方針5：

2030年ビジョン「つながる力で 未来をつくる－CO・OP 2030－」のもと、日本生協連 中央地連管内の都県連との交流や情報交換をすすめ、結びつきを強めます。

- (1) 生協法をはじめ、関連する法制度の動向に関する情報提供、関係者への働きかけなど、必要な取り組みを日本生協連とともに進めます。
- (2) 4都県（東京、埼玉、神奈川、千葉）生協連の連携を強めます。

本議案における、決議の本旨に反しない範囲での字句の修正は、理事会にご一任ください。

■用語解説

※1 SDGs

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標のこと。

※2 ソーシャルビジネス

環境問題や貧困・福祉など、社会的・地域的課題の解決をビジネスとして成立させながら追求しようとする事業。

※3 エシカル消費

地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと

※4 成年年齢引き下げ

民法改正により、2022年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に変わること。

※5 キャッシュレス決済

紙幣や硬貨を使用せず、クレジットカードや電子マネーを利用した電子決済。

※6 暗号資産

インターネット上でやりとりできる財産的価値。国家やその中央銀行によって発行された法定通貨ではない。

※7 食品衛生監視指導計画

食品衛生法第24条の規定に基づき毎年度作成するもので、都道府県などがこの計画に従い食品衛生に関する監視指導を実施する。

※8 高齢者孤立化防止プロジェクト「SSK」

千葉県が推進する高齢者孤立化防止プロジェクト。しない・させない・孤立化の頭文字

※9 サード・プレイス

自宅（第1の場所）でも職場（第2の場所）でもない「第3の場所」。心のよりどころとなり、精神的なストレスを減らす、「第2の家」のような存在。

※10 九都県市合同防災訓練

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市の九都県市が合同でおこなう防災訓練

※11 LGBTQ

レズビアン（女性同性愛者）ゲイ（男性同性愛者）バイセクシュアル（両性愛者）トランスジェンダー（心と体の性が一致していない方）に加えて、自分の性がわからないという「クエスチョニング」と性的少数者を表す「クィア」のQを加えた、セクシュアルマイノリティ全般を表す言葉。

※12 アンコンシャス・バイアス

「意識の偏見」「無意識の思い込み」

※13 COP26

第26回気候変動枠組条約締約国会議。

※14 千葉県協同組合提携推進協議会

千葉県内の農林漁協と生協で構成する協議会。県内の協同組合の提携を推進し、組合員の生活安定、協同組合の社会的地位の向上、さらに協同組合地域社会の建設を図ることを目的とする。

※15 国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座

国際協同組合年（IYC）を記念し結成された全国協議会が開講する寄附講座。

※16 ちば産学官連携プラットフォーム

千葉市と市原市にキャンパスが所在する私立大学・短期大学計11校が参画したプラットフォーム。千葉市、産業界と連携をしていくことで、千葉市の「くらしの質」を高めていくための連携・協働・共創を生み出していくための体制を構築していくことを目指す。

※17 デジタルデバイド

インターネット等の情報通信技術（ICT）を利用できる者と利用できない者との間にもたらされる格差のこと。情報格差。

※18 デジタルトランスフォーメーション（DX）

最新のデジタル技術を駆使した、デジタル化時代に対応するための企業の変革。

※19 カーボンニュートラル

何かを生産したり、一連の人為的活動を行った際に、排出される二酸化炭素と吸収される二酸化炭素が同じ量にする、という目標。

※20 プラスチック資源循環促進法

プラスチックを使った製品の設計から 廃棄物処理まで、ライフサイクルにおける3R（リデュース・リユース・リサイクル）+Renewable（再生可能）を促進しようとする法律。

※21 責任ある調達

企業がサプライチェーンの各段階において、倫理的かつ持続可能な製品やサービスの積極的な調達を確実にしていること。

※22 消費者契約法および消費者裁判手続特例法等に関する検討会報告書

消費者庁「消費者契約に関する検討会」が9月公表した報告書。次期通常国会への消費者契約法の改正法案として法制化を進める。

※23 核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議

5年に1度、核不拡散条約（NPT）の運用状況を検討するために開かれ、NPTの実効性を高めるための最終文書の全会一致の採択を目的とする会議。

※24 核兵器禁止条約締約国会議

核兵器禁止条約は、核兵器の開発や製造、保有、それに使用を国際法で禁じることを定めていて、これまでに55の国と地域が批准。

※25 核共有

核保有国が核兵器を同盟国と共有するという考え方・戦略のこと。北大西洋条約機構（NATO）加盟国の一部が採用している。

※26 「コープSDGs行動宣言」

「持続可能な開発目標（SDGs）」について、生協もその一端を担うべく、取り組みを通じてその実現に貢献することを約束する行動宣言。

※27 リスクコミュニケーション

消費者、事業者、行政担当者などの関係者の間で情報や意見をお互いに交換しようというもの。

第2号議案

Ⅱ. 2022年度収支予算

【1】2022年度収支予算案

自2022年4月1日 至2023年3月31日

単位：円

科 目	金 額	前年度実績	前年度比 (%)	経費科目	金 額	21年度実績	前年度比 (%)
I.事業収入				役員報酬	10,000,000	10,000,000	100.0
会費収入	47,500,000	47,107,200	100.8	職員給与	15,000,000	14,966,757	100.2
II.事業経費				福利厚生費	5,250,000	5,116,750	102.6
人件費	30,845,000	30,665,030	100.6	退職給付費用	595,000	581,523	102.3
物件費	16,141,000	13,392,503	120.5	人件費計	30,845,000	30,665,030	100.6
合 計	46,986,000	44,057,533	106.6	通信交通費	1,000,000	848,905	117.8
事業剰余金	514,000	3,049,667	-	調査研究費	600,000	282,608	212.3
III.事業外収入				広報費	1,100,000	760,433	144.7
受取利息	9,000	8,533	100.0	会議費	2,200,000	919,977	239.1
雑収入	82,000	82,338	100.0	賃借料	5,027,000	5,026,396	100.0
合 計	91,000	90,871	100.0	渉外費	430,000	283,883	151.5
IV.事業外費用				教育文化費	2,400,000	749,251	320.3
雑損失	0	0	-	消耗品費	1,000,000	938,672	106.5
経常剰余金	605,000	3,140,538	-	諸会費	1,663,000	1,666,025	99.8
当期税引前剰余金	605,000	3,140,534	-	水道光熱費	350,000	340,975	102.6
				減価償却費	21,000	847,515	2.5
				雑費	350,000	447,287	78.2
				寄附金		280,576	0.0
				物件費計	16,141,000	13,392,503	120.5
				経費合計	46,986,000	44,057,533	106.6

第68回通常総会にて、理事の年間報酬額を1,200万円以内で提案し、承認されました。
2022年度の役員報酬予算は、この上限額以内です。

＜第3号議案＞

役員補充選任の件

1. 提案の内容

定款第19条および役員選任規約第5条に基づき、別記名簿の役員候補者（理事2名）を役員として選任することを提案いたします。

2. 役員選任の経過

- (1) 2022年3月24日に開催した第6回理事会において、役員選任規約実施細則第3条に基づき、千葉県生協連第73回通常総会における役員補充選任に関する公告の件について議決をしました。
- (2) 2022年4月1日に役員選任規約実施細則第3条に基づき、「千葉県生協連第73回通常総会における役員補充選任に関する公告」をおこない4月1日～4月20日までの期間で申出を受け付けたところ、分野区分理事として2名のお申出をいただきました。
- (3) 役員選任規約実施細則第5条1項及び2項に基づき、4月22日に開催した役員推薦委員会に於いて、推薦すべき候補者について選考をおこない、分野区分理事2名を決定し、選考結果を会長理事に報告しました。
- (4) 5月17日開催の第7回理事会において、第73回通常総会第3号議案として提案することを確認しました。

3. 役員候補者

理事	た かはし いさお 高 橋 功	生活協同組合ちば住宅コープ副理事長	新任
理事	おおくぼ かつみ 大久保 克巳	千葉県学校生活協同組合理事	新任

【注記】 役職名は2022年5月17日時点のものです。

本議案における決議の本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会にご一任ください。

< 付属資料 >

■ 地域生協の市町村別加入状況一覧

■ 2021年度 会員生協概況表

地域生協の市町村別加入率（2022年3月31日現在）

人口・世帯数は2022年4月1日現在 千葉県毎月常住人口調査より

市町村名	総人口	世帯数	なのはな	パルシステム	コープみらい	生活クラブ	組合員 合計	2019 加入率 (%)	2020 加入率 (%)	2021 加入率 (%)
県計	6,267,579	2,811,666	10,559	255,714	884,885	43,915	1,195,073	42.13	41.80	42.50
不明				823	202	0	1,025			
その他			1953	2,358	5,231	457	9,999			
合計	6,267,579	2,811,666	12,512	258,895	890,318	44,372	1,206,097	42.54	42.15	42.90
中央区	212,672	111,288	521	7,840	29,409	1,052	38,822	36.84	36.23	34.88
花見川区	176,965	82,580	388	7,025	31,065	1,395	39,873	47.62	47.43	48.28
稲毛区	160,093	75,924	321	6,708	24,745	1,911	33,685	44.41	43.98	44.37
若葉区	145,710	65,303	223	5,198	25,548	1,382	32,351	47.89	47.42	49.54
緑区	129,553	52,031	344	6,137	18,088	839	25,408	49.36	48.62	48.83
美浜区	151,932	69,155	314	6,140	18,826	2,273	27,553	40.03	39.52	39.84
千葉市合計	976,925	456,281	2,111	39,048	147,681	8,852	197,692	43.66	43.16	43.33
銚子市	56,093	25,073		915	8,261	7	9,183	35.71	35.81	36.63
市川市	496,104	245,639	1960	21,293	56,394	2,014	81,661	32.44	32.31	33.24
船橋市	644,697	294,812	1243	26,499	100,420	3,324	131,486	44.23	43.89	44.60
館山市	44,195	20,276		1,913	6,316	77	8,306	40.44	40.01	40.96
木更津市	135,947	59,285	84	4,376	17,580	781	22,821	38.20	37.48	38.49
松戸市	496,540	234,032	738	20,145	67,829	3,752	92,464	39.21	38.95	39.51

地域生協の市町村別加入率（2022年3月31日現在）

人口・世帯数は2022年4月1日現在 千葉県毎月常住人口調査より

市町村名	総人口	世帯数	なのはな	パルシステム	コープみらい	生活クラブ	組合員 合計	2019 加入率 (%)	2020 加入率 (%)	2021 加入率 (%)
野田 市	151,926	64,444		20,751	12,396	1,105	34,252	54.06	52.95	53.15
茂原 市	86,054	37,642	63	2,885	12,020	335	15,303	40.17	40.09	40.65
成田 市	131,111	59,962	361	3,573	16,697	644	21,275	34.91	35.07	35.48
佐倉 市	166,511	70,569	435	6,159	23,712	2,211	32,517	44.68	44.60	46.08
東金 市	57,223	25,364	59	2,242	8,163	220	10,684	41.91	41.63	42.12
旭 市	62,646	24,524		1,687	7,676	71	9,434	38.63	38.17	38.47
習志野 市	176,015	80,440	396	7,671	24,187	1,092	33,346	41.97	41.15	41.45
柏 市	430,032	192,533	456	18,984	44,278	4,682	68,400	34.42	34.12	35.53
勝浦 市	16,206	7,892		143	3,390	51	3,584	42.45	43.37	45.41
市原 市	266,493	118,930	220	8,230	37,062	1,461	46,973	39.08	38.74	39.50
流山 市	206,137	86,521	244	10,658	38,272	2,876	52,050	59.62	59.21	60.16
八千代 市	201,410	87,507	242	7,680	37,998	1,341	47,261	55.30	54.12	54.01
我孫子 市	129,904	57,240	178	6,789	13,525	1,235	21,727	37.79	37.60	37.96
鴨川 市	31,312	14,479		647	5,531	115	6,293	42.97	42.81	43.46
鎌ヶ谷 市	109,744	48,046	152	3,953	25,168	608	29,881	61.67	61.40	62.19
君津 市	80,750	35,227	14	1,877	13,263	315	15,469	44.06	43.41	43.91
富津 市	41,248	17,646		654	6,794	98	7,546	41.36	41.18	42.76
浦安 市	170,008	80,611	506	8,260	15,636	1,860	26,262	31.80	31.70	32.58
四街道 市	94,410	39,369	155	3,164	16,722	770	20,811	53.19	52.48	52.86

地域生協の市町村別加入率（2022年3月31日現在）

人口・世帯数は2022年4月1日現在 千葉県毎月常住人口調査より

市町村名	総人口	世帯数	なのはな	パルシステム	コープみらい	生活クラブ	組合員 合計	2019 加入率 (%)	2020 加入率 (%)	2021 加入率 (%)
袖ヶ浦市	64,414	26,091	24	2,026	10,786	350	13,186	51.80	50.69	50.54
八街市	66,284	28,146	89	2,074	8,548	223	10,934	38.21	38.34	38.85
印西市	105,396	39,693	159	5,309	13,681	1,414	20,563	52.94	51.89	51.81
白井市	61,996	24,425	94	2,635	9,357	677	12,763	52.31	52.18	52.25
富里市	49,151	21,981	154	1,330	5,779	161	7,424	33.14	33.27	33.77
南房総市	34,636	14,608		911	5,645	97	6,653	43.84	44.11	45.54
匝瑳市	34,060	12,914		872	4,833	53	5,758	44.56	44.18	44.59
香取市	70,430	27,536	113	1,246	10,812	23	12,194	42.84	42.98	44.28
山武市	47,279	19,388	117	1,479	7,433	91	9,120	45.44	45.21	47.04
いすみ市	34,648	14,488		328	6,025	143	6,496	42.05	42.16	44.84
大網白里市	47,657	19,835		2,158	6,405	199	8,762	43.54	43.67	44.17
酒々井町	20,319	9,215	192	700	2,419	107	3,418	35.61	36.36	37.09
栄町	19,784	8,300		616	3,220	137	3,973	46.85	46.29	47.87
神崎町	5,680	2,292		94	985	4	1,083	47.34	46.80	47.25
多古町	13,269	5,003		207	1,924	9	2,140	39.90	39.22	42.77
東庄町	12,855	4,631		292	1,871	2	2,165	45.11	44.66	46.75
九十九里町	14,093	6,103		417	2,097	20	2,534	40.06	39.83	41.52
芝山町	6,837	2,483		141	898	13	1,052	41.13	40.90	42.37
横芝光町	21,591	8,315		636	3,077	16	3,729	42.85	42.09	44.85

地域生協の市町村別加入率（2022年3月31日現在）

人口・世帯数は2022年4月1日現在 千葉県毎月常住人口調査より

市町村名	総人口	世帯数	なのはな	パルシステム	コープみらい	生活クラブ	組合員 合計	2019 加入率 (%)	2020 加入率 (%)	2021 加入率 (%)
一宮町	11,992	5,159		448	1,633	66	2,147	42.90	43.23	41.62
睦沢町	6,637	2,479		204	977	24	1,205	47.40	47.14	48.61
長生村	13,510	5,585		469	1,888	26	2,383	44.26	43.90	42.67
白子町	10,045	4,157		324	1,415	10	1,749	40.60	40.49	42.07
長柄町	6,482	2,506		195	1,014	22	1,231	47.13	46.54	49.12
長南町	7,005	2,634		189	1,102	9	1,300	45.77	45.76	49.35
大多喜町	8,517	3,315		10	1,508	40	1,558	45.89	46.83	47.00
御宿町	6,728	3,086		12	1,293	79	1,384	44.47	44.98	44.85
鋸南町	6,643	2,954		196	1,289	3	1,488	46.50	47.21	50.37
千葉県外合計	5,290,654	2,355,385	8,448	216,666	737,204	35,063	997,381	41.84	41.54	42.34

※不明：住所不明

※その他：県外組合員

※生活クラブは3月20日現在の数値

2021年度 会員生協概況表

作成日 2022年5月2日

千葉県生活協同組合連合会

生協名	組合員数		総供給高 (千円)		出資金高 (千円)		組合員一人当たり月利用高(円)		組合員一人当たり出資金(円)		
	20年度	21年度	20年度	21年度	20年度	21年度	20年度	21年度	20年度	21年度	
なの は な	12,647	12,512	2,176,544	2,045,336	94.0	771,922	795,199	14,177	13,549	61,036	63,555
地 パルシステム	251,889	259,161	34,426,311	34,514,341	100.3	9,626,632	10,076,020	11,386	11,256	38,218	38,879
コープみらい	878,694	889,024	104,781,811	102,998,248	98.3	22,319,222	22,982,508	9,963	9,711	25,400	25,851
域 生活クラブ	44,174	44,372	9,679,199	9,230,400	95.4	3,997,886	4,102,447	18,478	17,374	90,503	92,456
地域 計	1,187,404	1,205,069	151,063,865	148,788,325	98.5	36,715,662	37,956,174	10,625	10,365	30,921	31,497
千葉県庁	15,316	15,180	228,932	273,084	119.3	298,740	297,326	1,239	1,492	19,505	19,587
千葉県大	4,492	4,502	128,881	189,374	146.9	88,186	88,192	2,402	3,509	19,632	19,590
千葉大学	12,698	12,591	1,197,676	1,334,856	111.5	175,188	174,382	7,789	8,797	13,797	13,850
東邦大	4,541	4,524	305,476	315,046	103.1	66,271	65,941	5,595	5,792	14,594	14,576
学 校	41,140	41,661	510,412	514,468	100.8	243,177	224,387	1,038	1,036	5,911	5,386
ちば住宅コープ	11,683	11,860	355,452	274,938	77.3	58,740	59,620	2,571	1,946	5,028	5,027
高齢者生協	542	547	98,159	102,408	104.3	2,174	2,135	15,261	15,673	4,011	3,903
職域・専門計	90,412	90,865	2,824,988	3,004,174	106.3	932,476	911,983	2,608	2,762	10,314	10,037
総合計	1,277,816	1,295,934	153,888,853	151,792,499	98.6	37,648,138	38,868,157	10,057	9,830	29,463	29,992
進 生協名	組合員数	県内比率	総供給高	県内供給高	県内比率	出資金高	組合員一人当たり出資金(円)	全労済千葉推進本部			
東都生協	257,180	1,398	35,562,643	154,862	0.44	6,552,877	25,480	2021年5月末組合員数 394,598名			
常総生協	5,884	799	954,706	180,317	18.9	336,278	57,151				

※ コープみらいは千葉県内の数字です